



「地域ならではの商品のつくり方とは」

平成31年
1/10 Thursday
木曜日

1日目 13:00 ~ 18:40
会場：古座川町月野瀬ぼたん荘いり館(集合 12時 50分)

13:00~13:10 開塾挨拶、講師紹介、ガイダンス
出口講師 (和歌山大学観光学部教授)

13:10~14:30 塾長講演
「選ばれ続ける古座川町になるために」
塾長講演：山田桂一郎 塾長 & 古座川町の事例：細井講師15分
観光を手段とした地域振興を進めるためには、地域ならではの商品をつくるのが重要になります。この講演では、古座川町を事例に地域ならではの商品とはどのようなものであり、どのような役割を果たしているのか、そして、どのような点を意識してつくり出さなければならないのかについて解説します。

14:40~15:40 講師講演
「着地型観光で選ばれる商品とは？」東北の事例
株式会社インアウトパウンド仙台・松島 代表取締役/たびすけ合同会社西谷 代表 西谷雷佐講師
東北インアウトパウンド連合やたびすけでの取り組みを事例に、他地域が決して模倣できない「地域ならではの」商品づくりの本質についてお話しします。

「着地型観光で選ばれる商品とは？」田辺市の事例
一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長 多田稔子講師
田辺市熊野ツーリズムビューローでの取り組みを事例に、選ばれる商品についてお話しします。世界遺産認定後に観光地化が進んだ当地で地域住民の意識がどう変わったか、なぜ主なターゲット顧客を欧米客に絞ったのかなどの経緯をお話しします。

15:40~16:10 塾長講演
「地域を支える商品づくりとは？」
塾長講演：山田桂一郎 塾長
皆さんが今回エントリーした企画は、果たして本当に地域を支える商品につながっていますか？いま一度、地域を支える商品づくりとは何かについて解説します。

16:20~18:20 企画発表
・団体、個人、各5分程度で塾生企画発表・講師講評
2部に分けて塾生より報告をいただき、講師が講評します。
第1部：活動報告 (塾生講習に新たに取り組んだ活動、業務改善した活動に関する報告)
第2部：企画報告 (これから取り組もうとしている企画に関する報告)

講師講評
・トークセッション・論点整理
山田塾長、多田講師、西谷講師、森講師、細井講師
講師陣がこれまでの論点をトークセッション形式にて整理し、2日目に向けた課題を提示します。

18:30~19:00 個人ワーク
・個人ワークシートの作成
配布されたワークシートを活用し、発表、講評意見交換等で得た知識を整理するとともに、現時点での企画案を記載してもらいます。企画の目的だけでなく、その先にあるビジョンも整理してもらいます。

19:00~20:30 夕食
21:00~22:30 夜なべ談義「虎の穴」(講師全員参加)
夕食交流会
虎の穴に入らずに虎を食す!!翌日の企画改善案の発表につなげるべく、夕食交流会や夜なべ談義での意見交換に臨んでください。【ワークシート持参】

ゲスト講師 西谷 雷佐氏
西谷 雷佐 (にしやらいすけ)
株式会社インアウトパウンド仙台・松島 代表取締役
たびすけ合同会社西谷 代表
平成24年、着地型観光に特化した旅行会社「たびすけ」を創立。地域の暮らしに注目を集めたユニークなツアーを多数企画実施。平成28年「一般社団法人東北インアウトパウンド連合」を創立、理事等に就任。平成30年「株式会社インアウトパウンド仙台・松島」を創立、代表取締役に就任。オール東北にて観光で稼ぐつくり (DMO) に取り組んでいる。

ゲスト講師 森 成人氏
森 成人 (もりなるひと)
じゃらんリサーチセンター (JRC) 研究員
気仙沼市復興アドバイザー
1999年入社。ケイコとマナブ事業部、ポンパレ推進部を経て2013年4月より被災地気仙沼市へ赴任。被災地の復興のため、地元人材育成や観光振興、6次産業化など地域活性化に携わる。2017年4月からは気仙沼に設立するDMO法人 (一社) 気仙沼地域振興の理事も兼ねる。

平成31年
1/11 Friday
金曜日

2日目 9:00 ~ 16:00
会場：古座川町月野瀬ぼたん荘いり館(集合 9時 00分)

9:00~9:40 塾長講演
「ターゲットは明確か？」
塾長講演：山田桂一郎 塾長
選ばれる商品をつくるためには、どのような顧客に選ばれるのかを明確に定めることが必須です。ここでは、いま一度ターゲットを明確にすることの重要性を確認します。

10:00~10:30 講師講演
「気仙沼クルーカード導入の目的と課題」
じゃらんリサーチセンター (JRC) 研究員/気仙沼市復興アドバイザー 森成人講師
気仙沼クルーカードを事例に、ポイントカードを導入することで地域の多様な事業者をつなぐ目的と課題についてお話しします。

10:40~12:10 講師講演
「地域づくりにおけるマーケティングの本質とは？」
山田塾長、多田講師、西谷講師、森講師、細井講師
選ばれる商品づくりのためには継続的な品質改善が必須です。他方で継続的な品質改善はコストと価格の兼ね合い、取引業者の見直し、ターゲット顧客の変更などのジレンマをもたらします。こうした問題を講師陣がどのように考え対応しているのかをセッション形式で討議します。

12:10~13:00 昼食シビエランチ
13:00~14:00 論点整理
・各自の企画事業への落とし込み
エントリーした企画のブラッシュアップを行います。

・個人ワークシートの作成
配布されたワークシートを活用し、新たに獲得したアイデア等を活用して企画の修正作業を行っていただきます。

・ローカルカフェ 山田塾長、西谷講師、森講師、多田講師、出口講師、此松講師
個人ワークシートを活用し、3~4人でグループをつくって意見交換を行います。講師も各テーブルを順次回り、アドバイスします。

14:10~14:40 企画改善点発表
企画改善点の発表 (学びの共有) 全員と講師による意見交換
山田塾長、西谷講師、森講師、多田講師、出口講師、此松講師
企画案を各2分程で発表し、受講者全員と講師による意見交換を行います。

14:50~15:20 塾長講演
「持続可能な地域を実現するために」
塾長講演：山田桂一郎 塾長
持続可能な地域を実現するには、エコと利を乗り越え、地域内経済循環を活性化させることで地球に必要な産業を支えるとともに、地域愛を持った次世代を育成することが重要です。皆さんが提示した企画はこうした取り組みに寄与するものにするために、あらためてその本質について一緒に考えましょう。

15:30~16:00 閉塾式
閉塾式、修了証書授与式、記念撮影
全ての講義を修了した塾生へ修了証書を授与します。参加者全員と記念撮影。

ゲスト講師 多田 稔子氏
多田 稔子 (ただのりこ)
一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長
和歌山大学観光学部 大学観光学研究観光学教育研究アドバイザー
和歌山県生まれ。和歌山大学教育学部卒業。2006年に設立された、田辺市内5つの観光協会を統括する「田辺市熊野ツーリズムビューロー」の会長に就任。日本におけるDMOの先駆けとして、熊野古道エリアを「世界に開かれた上質で持続可能な観光地」とすることを目指して活動し、国内外で高い評価を得ている。

ゲスト講師 細井 孝哲氏
細井 孝哲 (ほせい たかひろ)
古座川町 産業振興課
Project General Manager 農産物振興対策、ジビエ担当
第1種強硬免許、わな免許取得。趣味はうなぎ、好きな食べ物は、うなぎ。活動内容は下記の記事をご覧ください。政府インターネットテレビで観光・木佐の知りたニッポンより身近に！より美味しく！いま注目の食材「ジビエ」 https://nettv.gov-online.jp/pg/pg16494.html とつりバーガーフェスタ #016「黒山のジビエバーガー」日本 http://kisu-ume-burger.jp/satoyama.html

「南紀熊野観光塾」塾長挨拶<塾の目的>

今年で6期目を迎える南紀熊野観光塾は、「選ばれ続ける地域」をモットーに、魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。「選ばれ続ける地域」では、住民が誇りを持って幸福に、そして楽しく暮らしています。では、どのような地域をめざせば住民も訪れる人々も幸せを感じることができるようになるのでしょうか。南紀熊野観光塾では、それを本質から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々との間でじっくりと意見交換をしてきたいと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、生涯にわたって一緒に活動を続けることができる同志を見つける場としても大いに活用してください。



南紀熊野観光塾 塾長：山田 桂一郎(やまだけいいちろう)

「南紀熊野観光塾」塾長紹介

山田 桂一郎 (やまだけいいちろう) 和歌山大学観光学部准教授
1965年 三重県津市生まれ
1987年 スイス・ツェルマツ観光局 日本対志インフォメーション、セールスプロモーション担当
1992年 JTC-SWISS(スイス 日本語インフォメーションセンター) 設立
1996年 環境省環境カウンセラー(非営利)として付録、ヴァレール観光局日本・アジア向けプロモーション担当
1999年 Mt.6(ベスト オブ ザ クラシック マウンテンリゾート) 環境政策とCS(顧客満足度推進)顧問就任
2003年 環境省環境カウンセラー(市民部門)
2004年 特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会理事、まちづくり観光研究所所長兼研究員
2005年 内閣府、国土交通省、農林水産省認定「観光カリスマ百選」認定
2006年 日本エコウォーク環境貢献推進協議会
2010年 総務省「地域力創造アドバイザー」
2011年 和歌山大学産学連携研究支援センター客員教授、北海道大学観光高等教育センター客員准教授
2014年 につばな会ききみこども協会代表
2015年 内閣府官庁「地域活性化伝道師」、和歌山大学教育研究アドバイザー
2016年 内閣府官庁「クールジャパン」地域プロデューサー、北海道大学観光高等教育センター客員教授、奈良県立大学客員教授
2016年 ジャパンエコトラック推進協議会理事
2017年 和歌山大学南紀熊野サテライト客員教授

「南紀熊野観光塾」講師紹介

出口 竜也 (でぐちたつや) 和歌山大学観光学部観光学科 教授
1964年石川県金沢市生まれ。1987年富山大学経済学部卒業、1991年神戸大学(現在兵庫県立大学)大学院経営学研究科博士後学課程を中退し、徳島大学総合科学部専任講師に就任。同僚助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光学科教授に就任。2008年より現職。専門は経営組織論、経営戦略論、観光経営論。近年は、人間的アプローチによる経営学研究や産業集積研究に高い関心を持っている。また、観光産業集積研究センター(SIARC)理事、いき交流文化デザイン研究所理事、日本うどん学会評議員など、幅広い分野で貢献を積み、学際的な活動を進めている。
(著書)「日本の経営の本質―松下幸之助の発想と戦略―(共著、PHP研究所 1997年)」、「ケースブック 現場主義の海外経営(共著、白桃書房 1997年)」、「社員の経営人類学(共著、東洋出版 1999年)」、「経営学への旅立ち(共著、八千代出版 2001年)」、「企業博物館の経営人類学(共著、東方出版 2003年)」、「ケースブック・ビジネスモデルデザイン(共著、文芸堂 2007年)」、「経営戦略の基礎(共著、東京経済情報出版 2007年)」、「社会文化のグローバル化(共著、東方出版 2007年)」、「新グローバル経営論(共著、白桃書房 2007年)」、「経営理念―継承と伝播の経営人類学的研究―(共著、PHP研究所 2008年)など。

竹林 浩志 (たけのけいし) 和歌山大学観光学部観光学科 准教授
1970年大阪府生まれ。1995年関西大学経済学部卒業、2000年関西大学大学院経営学研究科博士課程修了(学位取得後退学)、大阪明海大学(現大阪明海大学)観光学部専任講師に就任。同僚助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光学科准教授に就任。2008年より現職。専門は観光戦略論、経営組織論、リーダーシップ論。近年は、観光地運営における戦略主体の移転や組織の凝集力などを中心とした経営学的研究に高い関心を持っている。また、観光庁「観光地づくり人材育成ガイドライン検討会」委員も務めた。
(著書)「現代のチーム制―理論と役割―(共編著、同文館、2003年)、ドライブ着「観光経営戦略―現場決定から実行まで―(共著、セウゲージャウニング、2007年)、「ホーソン実験の研究―人間尊厳の経営の源流を探る―(共著、同文館、2008年)、「観光入門―観光の仕事・学習・研究をつなぐ―(共著、新泉社、2011年)など。

此松 昌彦 (このまつまさひこ) 和歌山大学教育学部 教授
1963年東京都生まれ。1987年東海大学海洋学部卒業、1996年大阪大学大学院理学研究科後期博士課程を単位取得後退学し、和歌山大学教育学部専任講師に就任。1999年和歌山大学教育学部助教授に就任。2008年より現職。2010年より和歌山大学防災研究センター長を併任。専門は防災学・古墳学・防災教育、和歌山県では新世代の地質、特に第四紀の古墳について研究している。学校や地域での防災教育プログラムを開発している。最近では南紀熊野ジオパーク推進協議会の学術専門委員として、南紀熊野ジオパークをサポートしている。南紀熊野から地域資源を生かしたジオツアーやジオ商品の開発に関心を持っている。

会場アクセス

南紀月野瀬温泉 ぼたん荘
和歌山県東牟婁郡古座川町月野瀬 881-1

- JR利用：JR紀勢本線 古座駅下車、タクシーで約10分
- 自動車利用：阪和自動車道 田辺ICより、国道42号線方面
- 交通案内文：JR古座駅よりタクシーで約10分。阪和道田辺ICより国道42号線で約120分。
- 専用駐車場有



応募要項 ※募集人数と費用について

塾生募集は15名様迄

(応募者が多数の場合は抽選となります。ご了承ください。)

- ①募集対象：観光塾を受けたことのある方、講師・塾生から紹介された方で全ての回に参加可能で、高校生以上の方
- ②会場までの交通費、宿泊費、体験費、食費等の費用は自己負担です。
- ③会場費用、テキスト代費用など参加費用として実費10,000円を初回徴収いたします。

※記載の内容は変更することもあります。予めご了承ください。

平成30年度 南紀熊野観光塾【塾生コース】 参加申込用紙

申込用紙とエントリー用紙の計2枚を締切日までにメール、FAX、または郵送でお送りください。
用紙はビッグユーン南紀熊野サテライト事務所に配布しています。
また、HPからダウンロードして頂けます。
www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/

南紀熊野サテライト

検索

塾生コース専用申込用紙&エントリーシート
平成30年12月26日(水)17:00 締切(必着)

お問い合わせ先

和歌山大学南紀熊野サテライト

TEL:0739-23-3977 FAX:0739-23-3978

メール：nankuma@center.wakayama-u.ac.jp

■開室時間：10:00～17:00(日・月・祝祭日等休み)

http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9
和歌山県立情報交流センター Big・U 内 102 号室

- JR利用：JR紀勢本線 BigU 最寄駅、JR白浜駅。
大阪方面から新大阪より約2時間30分
- 自動車利用：阪和自動車道 田辺ICより、国道42号線方面
または上富田ICより国道42号線方面
- 専用駐車場有



地域と共生の学び

南紀熊野サテライトは、地域課題に対応した地域連携・貢献を推進するため、和歌山大学全体の知的資源を活かして、南紀熊野における地域連携・貢献に関わる教育と研究、及び地域づくりの人材と地域課題に対応した事業に参画するための拠点です。



NANKI-KUMANO-KANKOJUKU
南紀熊野観光塾 vol.6

～いま、求められる観光中核人材を考える。次世代の地域経営～

平成30年度開塾



南紀熊野観光塾 塾長：山田 桂一郎

地域ならではの
商品のつくり方とは

第6期生 募集【塾生講習】15名

平成31年
1/10
Thursday
木曜日

平成31年
1/11
Friday
金曜日

会場

南紀月野瀬温泉 ぼたん荘
〒649-4106 和歌山県東牟婁郡古座川町月野瀬 881-1

開催日	塾生講習 平成31年 1月10日(木) 13:00～19:00 1月11日(金) 9:00～16:00
申込締切日	平成30年12月26日(水)17:00
参加条件	全ての回に参加する意欲の有る方 高校生以上の方(学歴等不問)

「南紀熊野観光塾」とは、「選ばれ続ける地域」をモットーに、南紀熊野のあるべき姿をみんなで考える塾です。魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。人々が地域の魅力に気づき、誇りを持って幸福に暮らすことができれば、おのずとそこには観光客がやって来ます。では、どのような地域になれば人々は幸福になれるのでしょうか。この塾では、それを根本から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々の間でじっくりと議論していきたくと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、同志を見つめる場として大いに活用してください！

※次の方々にお勧めの塾です。

観光業従事者	観光振興の担い手	地方公共団体	ジオパーク担当者
若手起業家	観光案内者	まちづくり担当者	旅館経営者
商工関係者	インストラクター	地域づくり担当者	ガイド、語り部
			観光に関心のある大学生・高校生

主催：和歌山大学南紀熊野サテライト

共催：和歌山大学観光学部

後援：和歌山県